

# 一般質問発言通告書

発言順位 2番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年2月14日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 14番 甲斐 幸博

質問事項1	三島市の財政について
具体的内容	
<p>少子高齢化による社会保障費の増加や税収減により、三島市の財政状況が一層厳しさを増す中、市民の生活基盤、地域コミュニティの拠点などとして、昭和40年代から50年代にかけて、集中的に整備されてきた公共建築物が、改修や更新（立替え）の時期を迎えています。</p> <p>長期的な視点を持ち、財政計画と整合を図りながら、必要な施設を維持保全していかなければなりません。三島市の取り組みを伺います。</p>	
1 今年度における財政状況と財源確保に向けた取り組みはどうか。	
2 自主財源確保につながる雇用の場の確保の事業進捗はどうか。	
3 今後における財政の健全化はどうか。	
4 三島市の「宝」遺伝学研究所と連携を図って、財政を安定させる取り組みを行ってはどうか。	
質問事項2	ふるさと納税について
具体的内容	
<p>多くの方が地方のふるさとで生まれ、その自治体から医療や教育等様々な住民サービスを受けて育ち、やがて進学や就職を機に生活の場を都会に移し、そこで納税を行っています。その結果、都会の自治体は税収を得ますが、自分が生まれ育った故郷の自治体には税収が入りません。そこで、「今は都会に住んでいても、自分を育ててくれたふるさとに、自分の意志で、いくらかでも納税できる制度があっても良いのではないか」数多くの議論や検討を経て生まれたのが、ふるさと納税です。三島市のふるさと納税の取り組みについて伺います。</p>	
1 寄附金額の増加に向けた令和6年度の取組状況と成果はどうか。	
2 現状の課題認識とそれに対する対応についてどうか。	
3 ふるさと納税の専門部署を設けて取組を強化してはどうか。	
質問事項3	清掃センター広域連携について
具体的内容	
<p>令和元年11月の一般質問で、清掃センター広域連携について質問させていただきました。私の質問に対する回答で、サーマルリサイクルの観点から、焼却熱を利用した、発電設備の設置などが必要とのことで、広域化であれば、高機能な施設を導入できる余地も広がります。</p> <p>そこで、県のマスタープランで示された東部5市町で、ごみ焼却施設の広域化に向けた議論が進められていますが、現在の状況を伺います。</p>	
1 広域化に関する現在までの状況はどうか。	
2 焼却熱による発電について、具体的にどのように考えているのか。	
3 単独でも焼却熱による発電設備の設置の可能性はあるのか。	